



©朝日新聞社 2003年  
 大阪府北区中之島3丁目  
 発行所 2番4号 〒530-8211  
 朝日新聞大阪本社  
 電話 06-6231-0131

# 挑む

起業家たち

中学卒業後、プロボクサーを志した。塗装屋

でアルバイトをしながら、ジムに通った。17歳。プロ試験に一発合格。が、内臓の病を患い、新人王の夢はついえた。

「一人前になるまでうちで修業せんか」。住宅リフォーム業、オンテックス(大阪市)会長兼最高経営責任者の小笹公也さん(39)が外壁塗装の道に進んだのは、バイト先の親方の一言だった。日当5千円で塗料にまみれる日々が始まった。

## 脱下請け 街歩き客開拓



オンテックス

小笹 公也さん

84年、長女が生まれる直前に21歳で独立。愛車のセダンを知人のワゴン車と交換してもらい、塗料やはけを車に積んだ。最初の仕事は、大手化学メーカーの滋賀工場新築現場での鉄骨の塗装。現地に泊まり込むお金も

なく、職人2人と朝6時に出かけ、深夜に帰宅する日々が2カ月続いた。

実績を積み、順調に発

注を伸ばしていった矢先の95年初め、中堅ハウスメーカーから工事代金が支払われず、八百数十万円が不渡りとなる事態に

午前6時過ぎに出社し、職人を送り出したら街に出る。壁や屋根が古くなったマンションを見つけては登記簿を取り、オーナーに直接改装プランを提案する。この作業を組織化し、一般住宅にも営業対象を広げた。

売上高は02年度に93億円に達する。稼ぎ頭は太陽熱を伝えにくい塗料「Eテックス」。自社開発製品で、全売上高の約2割を占める。一般塗料より部屋の温度を数度抑えるため省エネ効果があるといい、コストも低い。昨夏には、インド総領事館から、遮熱効果の

高い屋根用塗料を本国の貿易会社に紹介したい、と打診を受けた。

社員も700人まで増えた。今春は大卒新入社員を一気に800人近く採用する。若者が嫌う戸別訪問の営業職のため、相応の離職者は見込む。だが、近い将来の上場を見据え、不況下で優秀な人材を確保するチャンスともみる。

01年、大学入学資格検定に合格し、昨春、同志社大商学部に入學した。週4度は大学に通い、パソコンで決裁し、本社に指示を送る。現場で培った経験に理論を加えるため、経営学修士(MBA)の取得を目標にしている。

(奥寺淳)